

男子決勝リーグ戦評①

令和4年7月27日	A②	11:45	寝屋川市立第八中学校	14	21	13	14		62
箕面スカイアリーナ			羽曳野市立はびきの埴生学園	17	13	21	12		63

スタートメンバーは寝屋川8④⑤⑧⑭⑱、はびきの④⑤⑥⑦⑧1Qは⑧のジャンプシュートから動き出す。前半部分では1対1のやり合いからの得点が両チーム目立つ、黒④のドライブからの合わせのプレーや3Pシュートなどを放ち1Q3点差で黒がリードする。2Qは黒⑥3Pから始まるが、白④のP&Rから得点を返し23対23で同点、そこから黒⑦⑧の連続3Pシュートで29対23になり、黒がタイムアウトをとり、タイムアウト後連続得点をとるが、終盤に白④⑤のゴール下シュートを放ち35対30で白チームがリードし、前半を終える。3Qは出だし2分間両チーム無得点、黒の⑦の3Pで試合が動く。白、ゴール下シュートドライブで得点を重ね、白は④⑥を中心に3Pシュートを放ち同点。白タイムアウト後黒⑥のバスケットカウントや⑦の3Pを放ち、逆転するも、白の3Pがあり、点差は3点差で黒がリード4Qは開始直後黒⑥のスティールや1対1で連続得点、白タイムアウト、前半部分では黒⑥の1対1、白⑤の1対1で得点を重ね、前半リードしていた黒チームがタイムアウトをとる、白④の連続リバウンドシュートと白⑧の速攻で残り46秒で逆転、黒チームがタイムアウトをとる。黒チームがサイドからのセットプレーで⑧のドライブから逆転、残り12秒で白チームがタイムアウト、残り2秒かたの白⑤チームのシュートが外れ試合終了、1点差で黒チームの勝利。

記入者：秋山・山本

令和4年7月27日	B②	11:45	高槻市立阿武山中学校	18	12	22	19		71
箕面スカイアリーナ			大阪市立三国中学校	11	9	9	14		43

阿武山の④⑤⑥⑦⑭三国④⑤⑥⑦⑧⑩でスタート。序盤は阿武山の④⑤のドライブが決まり、得点を重ねていく。対して三国は⑩のドライブや⑤のポストプレーなどでバスケットカウントを取るがフリースローが決まらず1Qを18-11で終える。2Qの出だし、阿武山の④が3Pを果敢に打つもリングに嫌われ、対して三国は⑤のリバウンドから④がドライブやポストプレーで得点する。両チームミドルシュートが中々決まらず苦しい時間があったが、2Q終盤は阿武山の速攻が連続で決まり前半を30-20で折り返す。3Qの始まりは両チーム前半のスターティングメンバーと同様、三国がドライブで仕掛けるもペイントエリアに入って来れない状況の中阿武山は速攻から⑭の得点を皮切りに④の2連続スティールなどで得点し、三国を突き放す。3Qは④⑥⑭がよく走り52-29で終える。4Qも阿武山のスピーディーなプレーが続く。リバウンドから走るバスケットでチャンスを何度も作り、⑦のドライブなどで得点していく。対する三国も④のペネトレイトや⑥のステップインで得点していくも差は詰めることはできず71-43で阿武山が勝利した。

記入者：湯井・山口

令和4年7月28日	A②	11:45	羽曳野市立はびきの埴生学園	22	16	14	23		75
東大阪アリーナ			大阪市立三国中学校	15	4	21	12		52

両チームハーフマンツースタート。初めは共に硬さが見られたが、白⑥のジャンプシュートを皮切りに点の取り合いに。青は⑤⑥のリバウンドシュートや④の1対1を中心に点を重ねるが、白はトランジションの速さから④が速攻で連続ポイント、合わせて白⑥が巧みなボールコントロールからバスケットカウントや3Pで流れをつかみ22対15白リードで1Q終了。2Qに入っても白は⑥を中心にバランスよく点数を重ね青を圧倒する。青はタイムアウトをとり流れを変えようとするも、白がDFも躍動し始め徐々に点数が開き38対19白リードで前半終了。3Q青がDFのプレッシャーを強め白のミス誘いゲームの流れを変えようとする。しかし、白はまたもや⑥を中心としてあわてずボールをキープする。残り3分を過ぎたところから徐々に点差がつまり始める。大事なところでの青のOFミスと白⑥の得点により52-40白リードで3Q終了。4Q青は3Qの勢いが続かず序盤再度リードを広げられ、残り4分で20点差となり、最後までその点差が縮まらず75-52で白の勝利終始白のアウトサイドからの1対1の巧みさが目立った試合であった。

記入者：北村

男子決勝リーグ戦評②

令和4年7月28日	B②	11:45	寝屋川市立第八中学校	9	14	19	20		62
	東大阪アリーナ		高槻市立阿武山中学校	16	13	18	14		61

寝屋川8④⑤⑧⑭⑱阿武山④⑤⑥⑧⑭で試合開始。立ち上がり2分間両チーム無得点、均衡を破ったのは阿武山⑤のシュート、その後④を起点に連続ポイントを挙げ、寝屋川8がたまたま前半1回目のタイムアウト。タイムアウト明け寝屋川8⑤のローポストターンアラウンド、続けてドライブインからアンドワンで追撃。阿武山は④を中心に反撃する、寝屋川8は④のOFリバウンドなどで得点をあげ、16-9阿武山リードで1Q終了。2Q立ち上がり阿武山⑤ゴール下④から⑦の速攻、寝屋川8は⑤ポストプレーで両チーム得点を重ねていく中5分20秒で阿武山が前半1回目のタイムアウト。寝屋川8⑬の鋭いドライブで得点すれば阿武山⑦のフローター④起点の速攻でこの試合最大12点差がついたところで寝屋川8前半最後のタイムアウト。2分33秒は一進一退の攻防が続く中寝屋川8⑤の連続3Pが決まり29-23阿武山リードで前半が終了。後半は両チームメンバーを戻し開始。寝屋川8⑤のドライブイン、アンドワンも沈め2点差まで縮める。阿武山は⑧のDF④⑤⑦の巧みな連携プレーと速攻で再び点差を広げる。寝屋川8も⑬の3P④のステップインで対抗し両チーム点の取り合いで47-42阿武山5点リードで最終Qに突入。立ち上がり寝屋川8のDFの足が動く。⑭のジャンパー⑤のポストプレーで1点差まで詰め寄せると阿武山⑦のDFリバウンドで得点をしたところで寝屋川8タイムアウト、両チーム店を取り合うが寝屋川8⑤のポストプレー3Pでこの試合初めて寝屋川8が2点リードしたところで阿武山後半最初のタイムアウト。終盤までもつれた試合は寝屋川8⑤ポストプレーがきっかけとなり62-61で寝屋川8が勝利した。

記入者：武富・郷司

令和4年7月28日	A④	14:45	高槻市立阿武山中学校	7	25	17	17		66
	東大阪アリーナ		羽曳野市立はびきの殖生学園	9	25	19	15		68

白④⑤⑦⑧⑭黒④⑤⑥⑦⑧で白チームがジャンプボールを制しゲームスタート。1Qは攻撃を仕掛けるもお互いに激しいDFにより、前半では得点が入らない場面が見られた。均衡を破ったのはセットプレーからの黒⑤の得点からゲームが動き、白④の1対1からのドライブ、黒⑥の3Pが入り、7-9黒リードで1Qを終える。2Qは出だしより点の取り合いとなり、黒⑥のステップインや3P、黒⑦の3Pが入りリードを広げるも白チームも④のドライブや3P、⑤のリバウンドタックルシュートをかわきりにシーソーゲームが続く、2Q終盤白④の3Pが決まり同点になるも、黒⑥のブザービーターが決まり、32-34黒リードで終了。3Qスタートより、2Qに引き続き点の取り合いが続いた。白チーム4番のドライブやスティールからの速攻により、点差が1点差になり黒チームタイムアウトをとる。黒⑧のドライブや白⑤のターンシュートなどもあり、点差は1点差、3Q終了時に黒⑥の3Pシュートで49-53で3Q終了。4Qは黒④の3Pが入り、黒がリードを広げる。一方白⑧の速攻や3Pシュートで食らいつく。点差は7点差で黒がリードを保つ。白④の3Pやフリースローで点差を4点に縮めるも、黒がボールをキープし66-68で黒チームが勝利。近畿大会出場を決めた。

記入者：山本・金田

令和4年7月28日	B④	14:45	大阪市立三国中学校	15	7	16	10		48
	東大阪アリーナ		寝屋川市立第八中学校	9	10	13	18		50

白④⑤⑥⑧⑩黒④⑤⑧⑭⑱でゲームスタート。白⑧のジャンプシュート黒⑭の3Pでゲームが動き出す。白は⑤の力強いドライブや④のポストプレーで加点しリードを広げていく。黒は⑤の1対1を基点にプレーを組み立てるがなかなかシュートが決まらず15-9で1Q終了。2Q黒はシュートが決まらない中、④⑭がOFリバウンドを頑張り食らいつく。しかし、白も⑤リバウンドシュートや④のポストプレーで流れを渡さず黒がタイムアウト。その後、黒⑤の1対1やアシストで追い上げ、同点に追いつくも、白⑥がブザービーターで3Pを決め、22-19で2Q終了。後半白は④⑤の力強い1対1で得点を伸ばしていく。黒も⑤が積極的なアタックから得点、アシストで粘りを見せるが、要所で白⑥や⑤が3Pを決めリードを保ち、38-32で3Q終了。4Q黒は⑭の速攻や⑤の3Pなど3連続ゴールでついに逆転に成功する。白もタイムアウトで立て直し④がインサイドで得点を重ねリードを奪い返す。しかし、黒は⑤の1対1に加え、⑭の1対1や⑦の3Pで46-48と再逆転。タイムアウト後、白⑥がゴール下を決め同点とするも、黒⑤が決勝点となるジャンプシュートを決め48-50で勝利をおさめ、近畿大会出場を決めた。

記入者：福嶋・秋山

女子決勝リーグ戦評①

令和4年7月27日	A①	10:00	高石市立高南中学校	19	10	13	15		57
箕面スカイアリーナ			枚方市立枚方中学校	6	16	4	5		31

決勝リーグ1日目、高南④⑤⑥⑩⑪枚方④⑤⑥⑨⑩でスタート。開始早々枚方⑨のドライブで先制。高南はDFからプレッシャーをかけて枚方のミスを誘い、高南⑥④の鋭いドライブから得点を重ねる。一方枚方は⑤のインサイドプレイで応戦し互いに激しい攻防が続くが枚方は高南のドライブをなかなか止められず苦戦を強いられる展開となり19-6高南リードで1Q終了。2Q、枚方ボールから始まり、スローインのセットプレイから⑤が得点しその後も立て続けに⑤のインサイドプレイを起点に得点し、④の3P⑨のジャンプシュートなど要所でシュートを沈め4点差まで詰め寄る。高南は④のドライブシュートや3Pで応戦するが、ミスの連発やノーマークシュートを決められず得点を伸ばすことができなかったが、粘り強いDFを徹底し29-22高南リードで前半終了。3Q高南はインサイドプレイを枚方はドライブプレイを警戒した守り合いが続く中、枚方はOFリバウンドチャンスを増やすも、なかなか得点に繋がらず苦しい時間帯が続く。高南は④のドライブシュート⑤の3Pと着実にシュートを決め42-26高南リードで3Q終了。4Q高南は激しいDFからゲームコントロールし④⑤⑥を中心に得点を重ねる。流れを引き戻したい枚方は1対1やインサイドプレイを試みる。しかし、高南のDFの勢いは衰えず57-31、高南が勝利した。

記入者：岩木、浅井

令和4年7月27日	B①	10:00	大阪薫英女学院中学校	27	14	18	16		75
箕面スカイアリーナ			樟蔭中学校	15	22	10	15		62

薫英④⑤⑥⑧⑨樟蔭④⑤⑥⑦⑭で試合開始。序盤樟蔭⑥の連続ポイントで9-4とリードする。対する薫英は④の3Pドライブなどで応戦し、17-9薫英リードで樟蔭前半一回目のタイムアウト。タイムアウト明け樟蔭④⑤の3Pで追撃、しかし薫英も速攻と激しいDFで逆に樟蔭を突き放し27-15薫英リードで1Q終了。2Q立ち上がり樟蔭⑭のOFリバウンド⑤のユーロステップなどで一気に4点差まで詰め寄る。薫英も⑧OFリバウンド⑥のドライブで対抗し、残り3分で再び13点差にリードを広げる。樟蔭はDFをプレスに切り替え⑤の多彩なOFで残り2分で4点差に縮め2Q終了。後半両チームスタートメンバーに戻す。樟蔭⑥の3P⑤の速攻でリードチェンジ。薫英⑧のアンドワンエンドプレー⑨のジャンパーで再び8点差のリードチェンジ。残り時間2分55秒で樟蔭後半最初のタイムアウト。タイムアウト明け樟蔭は⑤のアンドワン3Pで再び追いつくが薫英の④⑤を中心にした速攻でリードを12点差に戻し3Q終了。最終Q立ち上がりから薫英の足が動いて、1分30秒の間にリードをこの試合最大16点差まで広げ樟蔭後半2度目のタイムアウト。樟蔭⑤は足がつっているなか、3Pを沈め、尚追いつこうと試みるも終盤まで足が止まらない薫英は④が最後までゲームメイクを怠らず75-62薫英中学校が決勝リーグ初戦をものにした。

記入者：伊津・郷司

令和4年7月28日	A①	10:00	高石市立高南中学校	11	12	10	11		44
東大阪アリーナ			樟蔭中学校	12	5	24	14		55

高南は④⑤⑥の鋭いドライブで起点として得点を重ねる。対して樟蔭は⑤のドライブ⑭のインサイドで得点を重ねる。両チームの足の動いた効果的なDFが光り、お互いのOFは思うようにいかない時間が続く。第1Qは11-12樟蔭が1点リードで終了。第2Qに入っても両チームの激しい守り合いでお互いに点差をあげることができない。そんな中高南⑤のスティールからの連続得点3Pでゲームが動き出す。樟蔭も⑤の速攻からのバスケットカウントで反撃するも23-17高南がやや押し込んだ状態で前半終了。後半に入り樟蔭は⑫のペネトレイトを中心にOFが機能し始める。高南も⑩のOFリバウンドや⑥のペネトレイトで食らいつく。第3Q24得点をあげた樟蔭が33-41で終了。第4Q、8点を追いかける高南はDFでプレッシャーを仕掛け反撃を狙うも樟蔭のパス回しが効果的に回り出し、得点を重ねる。高南も激しいDFで追い上げをこころみるがシュートが思うように決まらず、なかなか点差が縮まらない。時間がそのまま過ぎていき、55-44で樟蔭が決勝リーグ1勝目をあげる。敗れた高南も最後まで足が動き、その健闘を讃えてあげたい。

記入者：川端・尾形

女子決勝リーグ戦評②

令和4年7月28日	B①	10:00	枚方市立枚方中学校	4	11	13	7		35
	東大阪アリーナ		大阪薫英女学院中学校	17	14	16	23		70

枚方④⑤⑥⑨⑩スタート、薫英④⑤⑥⑧⑨がスタート、両者ハーフコートマンツーマンでスタート出だしから薫英の早い攻撃とOFリバウンドから流れをつかんでいく。枚方は⑤⑨中心にOFを組み立てるがなかなか良いシュートが打てず苦しい展開。17-4で薫英リード。2Qに入り枚方⑤がドライブやポストアップからのシュートで流れをつかんでいく、薫英はメンバーチェンジを繰り返しながらも得点を積み重ね点差を広げて行く。枚方⑨の鋭いドライブで得点を上げたり⑦の3Pで攻撃をかけるが薫英のDFを崩すところまでにはいかず31-15の薫英リードで前半終了。後半、枚方④⑤⑥⑨⑩、薫英④⑤⑥⑧⑨でスタート開始から薫英の勢いよく、ターンオーバーからの速攻、ドライブからキックアウトしての3Pシュート後のリバウンドを制して得点を重ねていく、枚方⑤⑩の1対1で反撃に転じていく。4Qに入っても枚方⑥や⑨の1対1でリズムが良くなっていくが薫英はリードを保ちながらの戦いを続け終盤に入っていく。最後まで両者ともにルーズボール、リバウンドに体を張り、気持ちの強いプレーが続いた。終始リバウンドを制し、固いDFで相手の攻撃を苦しめた薫英が35対70で勝利した。

記入者：加藤・伊津

令和4年7月28日	A③	13:15	大阪薫英女学院中学校	15	23	17	18		73
	東大阪アリーナ		高石市立高南中学校	10	9	7	12		38

大阪選手権決勝リーグ最終戦、ここまで2勝の薫英女学院中と1勝1敗で迎えた高石市立高南中の一戦。薫英④⑤⑥⑧⑨、高南④⑤⑥⑩⑪でスタート。序盤から薫英④⑥が立て続けに3Pを沈めリードを奪う。開始4分11-2と9点差がついたところで高南タイムアウト。その直後、高南④が3Pやドライブで点差を縮め、15-10薫英リードで終了。2Q出だしから薫英④⑤が連続3Pを決め、点差を広げる。たまたまタイムアウトを取り、立て直しを図る高南。高南④⑥を中心に攻撃を組み立てるが、なかなか得点につながらない。38-19、薫英がリードを広げ前半終了。後半、薫英④⑤⑥⑧⑨、高南④⑥⑦⑩⑪でスタート。薫英は前半の勢いそのままにテンポ良くパスを回してシュートにつなげる。また、薫英は⑤⑧が力強くリバウンドを奪いゴール下で得点を重ねる。一方高南は開始3分を無得点に抑えられる苦しい展開。終盤DFでプレッシャーを強め、高南④が速攻で得点をつなげるが、55-26薫英リードで3Q終了。4Q追い上げたい高南は激しいDFでボールを狙い、攻撃のチャンスを作る。高南は⑤が3P、ドライブで得点を挙げる。対する薫英も要所でシュートを確実に決め、流れを渡さない。この試合11本の3Pを沈めた薫英が73-38で全勝優勝を飾った。

記入者：浅井・牧

令和4年7月28日	B③	13:15	樟蔭中学校	24	16	19	25		84
	東大阪アリーナ		枚方市立枚方中学校	9	6	10	15		40

白樟蔭④⑤⑥⑦⑭、青枚方④⑤⑥⑨⑩でスタート。立ち上がり白⑥のジャンパーでファーストゴールを取り、続くOFで⑤のインレイションで連続得点、青も⑥1対1、⑤のポストプレイとすぐに取り返す。その後白は⑦⑭を中心に得点を重ねていく。青も3Pやペイントでシュートにいくが決め切れず、⑦のスティールからのワンマンで得点し13-7となり、青タイムアウト。タイムアウト明け⑨⑤の高さで得点するが白⑤を中心としたOFで得点を重ね白24-青9で1Q終了。2Qメンバーチェンジで入ってきた⑩のスティールからのワンマンや⑤の1対1、高い位置からプレッシャーをかけDFから流れをつくっていく。対する青も⑤のリバウンドショットやドライブと連続得点で追いかける。途中タイムアウトで青は流れを切りに行くが白はフレッシュなプレーヤーが走り白40-青15で前半終了。後半白④⑦⑨⑩⑮青④⑤⑥⑨⑩でスタート。白は選手を入れ替えながらオールコート・ハーフコートでプレッシャーをかけ続けターンオーバーやパスカットからの速攻でじわじわと点差をつけていく。青も⑩のドライブから⑤や⑥が合わせ得点するが、白のDFに阻まれ追加点が入らず白54-青25で3Q終了。最終Q青⑩からのアシストで⑤がゴール下を確実に決めると、白の⑬のドライブにパスが通り、点を取り返す。青は⑩のドライブや⑥のカットインの合わせで最後までゴールを狙い続けるが白もDFからの得点や⑤⑮の3Pで攻め続ける。青④のブザービートが決まり最後まであきらめなかったが青84-白40で試合終了となった。

記入者：湯井・川端